

10月の野菜の見通し

平成30年9月28日現在
山形県東京事務所

区分 品目	入荷量(t)			単価(円/kg)			山形県産前年実績		コメント
	前年実績	平年比 見込	5カ年 平均	前年実績	前年比 見込 (%)	5カ年 平均	前年 入荷量※ (t)	前年 占有率 (%)	
だいこん	12,451	少ない	13,474	77	110%	98	11	0.1%	北海道・青森産はシーズン終盤となるが順調な出荷を見込む。中旬には千葉・茨城を中心とした関東産も出揃うため弱含みの展開が予想される。見通し単価は85円で、前年(平年より2割安)より高いが平年比ではやや安。
はくさい	17,700	多い	15,392	55	155%	81	-	-	長野産は残量少ない見込み。中旬からは茨城産が出始めて弱含みの展開になる予想。見通し単価は85円で潤沢だった前年より大幅に高いが(前年が平年の5割安)、平年比では若干高い。
キャベツ	18,246	多い	16,554	56	140%	103	-	-	10月は群馬産が落ち着き始め、千葉・茨城産が概ね生育順調で増量となるが、端境になることも予想される。見通し単価は80円で、数量潤沢で安かった前年(平年より5割安)より大幅に高いも平年比では大きく安。
ほうれん そう	1,468	並み	1,433	507	99%	579	1	0.1%	群馬・茨城・栃木等、関東産はハウス・露地作ともに順調出荷の見込み。中旬には全体量のピークを迎えて弱含みとなる予想。見通し単価は500円で、前年並みで平年よりやや安。
ねぎ	5,109	少ない	5,674	346	101%	346	422	8.3%	北海道・東北中心の出回りだが10月中旬までは例年通り稲刈りや他品目の作業のため数量は少なくなる。中旬以降は稲刈りも終わり各地増量して相場は落ち着いてくる予想。見通し単価350円は高かった前年(平年より2割高)並みで平年比ではやや高い。
きゅうり	5,432	少ない	5,822	333	99%	339	67	1.2%	東北産は成り疲れがあり前年より数量は少ない見込み。関東産は上中旬には順調な出荷が予想されるがその後は出方が落ち着くか。見通し単価は330円で、前年・平年と同水準。
トマト	6,196	少ない	6,380	398	108%	432	106	1.7%	東北・北海道産は減少。夏秋・抑制作型の作柄悪く、10月前半は数量少なめとなる予想。下旬からは西南暖地産の増量により弱含みの展開か。

引用資料:「東京都中央卸売市場における野菜の品目別取扱実績」(青果物情報センター)、「野菜の入荷量と価格の見通し」(関東農政局)、「野菜の入荷・市況見通しについて」(東京青果株)

入荷量について:「0」はラウンドして1tに満たない入荷があったもの。「-」は本県のデータがないもの(入荷がないか、又は少なかったためにその他の産地に含まれる)